

超音波治療器

平成23年度北網地域医療再生計画(特設講座事業)

北網地域医療再生計画に基づき、北網地域の医療を充実を図り、医育大学に設置する特別講座と北見赤十字病院が連携し、地域医療を担う医師に対する医学知識の刷新及び再研修方法の研究、地域基幹病院における後期研修方法の研究、地域の医療機関への医師派遣並びに専門(認定)看護師及び専門分野に対応できる理学療法士等を養成する目的として平成23年度北網地域医療再生事業費補助金の交付を受け整備を行いました。



以下に装置の簡単な特徴を記します。

1 患部を立体的に直接温める立体加温効果

超音波が生体組織に照射される際に生じる熱で温熱作用を発生させ、超音波が到達している範囲を立体的に温めます。また1秒間に100万回(1MHz)／300万回(3MHz)の高速度マイクロマッサージにより、深部に直接刺激を与えることができます。

2 1秒間に数百万回のマイクロマッサージ作用

超音波が体の深部に進むにつれて高速の振動が縦に伝わり、1秒間に100万回(1MHz)／300万回(3MHz)の高速度マイクロマッサージ効果を発揮。手によるマッサージの数倍の圧力を深部に直接与えることができます。

3 治療の幅が広がる6種類のパルスモード

連続モードの他に、6種類のパルスモード(5%・10%・20%・30%・40%・50%)を選択可能。発症期、治療目的、多種の症状に対応でき、治療の幅が広がります。

4 10種のプリセットプログラムを搭載

治療目的、治療部位に合わせた代表的な治療プログラム10種をあらかじめ搭載しました。患者に合わせてプログラム内容を変更することも可能です。

5 急性疾患にも対応するOTMモード

超音波専用ゲルを使用したGELモードに加え、OTMモードを搭載。スポーツ選手に多く見られる、打撲や捻挫などの急性疾患の治療にも対応できます。

6 個別治療プログラムを100種設定可能

症状や患者に合わせた治療プログラムの作成・メモリーが100種インプット可能。プログラムは周波数やDuty、タイマー時間などでソートが可能で、目的のプログラムを容易に選択することができます。

7 1つのプローブで1MHz、3MHzに対応。

深い患部には1MHz、浅い患部には3MHzというように、2つの周波数を使い分けできます。プローブ交換の必要がない、1本のプローブでの切替方式です。